

平成 2 3 年 6 月

伊東市議会 6 月定例会

一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一 般 質 問 順 序

- 1 四 宮 和 彦 君
- 2 宮 崎 雅 薰 君
- 3 稻 葉 富 士 憲 君
- 4 横 沢 勇 君
- 5 佐々木 清 君
- 6 西 島 彰 君
- 7 重 岡 秀 子 君
- 8 浅 田 良 弘 君
- 9 楠 田 一 男 君
- 10 榎 本 元 彦 君
- 11 佐 藤 美 音 君
- 12 大 島 春 之 君

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

伊東市の中学卒業者の進路について伺う。

- (1) 文部科学省統計による全国の高校進学率は、平成19年度97.7%、平成20年度97.8%、平成21年度97.9%であり、静岡県は平成21年度97.3%となっている。これらと比較して伊東市における高校進学率の現状はどのようなものとなっているか、また、それを伊東市としてどのように評価しているか。

- (2) 平成22年度中学卒業生については、在学中の問題行動や、伊東高校のクラス数削減等がその進路決定に影響することがなかったか、中学生とその保護者を中心に懸念されていたが、平成21年度以前と比較して、そうした影響は認められるか。

- (3) 同じ伊東市内在住者であっても、通学に当たり、市内北部と南部では、交通費負担のみならず、駅までの送迎等、保護者の負担については大きな格差がある。特に、対島中学区の生徒数は、市内でも3番目に多く、通学にかかわる負担の大きさは無視できないものと思われる。こうした経済負担の大きさは、高校進学に当たり、市外の高校へ進学する機会を奪う阻害要因となりかねないと思われるが、伊東市としてどのような現状認識を持っているか。

- (4) 伊東市の教育予算総額については、他の自治体との比較において、一般会計予算に占める割合を見ても、決して少なくはないと思われるが、その明細を見ると、学校施設の耐震補強等の建設費や改築費の占める割合が比較的多いと思える。教育指導、教育振興等教育コンテンツに関して、伊東市では児童・生徒一人当たり、どれだけの費用を支出している計算となるか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 宮 崎 雅 薫

1 活力あるまちづくりについて

(1) 平成23年度以降の商工業振興施策について伺う。

(2) 商店会のイベントに対する支援策について伺う。

2 安全・安心で快適なまちづくりについて

(1) 津波に対する避難経路の策定や避難誘導表示板の設置、避難ビルの指定などの基準について伺う。

(2) 防災訓練や自主防災会などにおける訓練内容について伺う。

3 パークゴルフの振興について

(1) 市民の健康増進を図る観点から、パークゴルフの推進について伺う。

(2) 体験型観光施策としてパークゴルフ場の造成の可能性について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 稲 葉 富士憲

- 1 東日本大震災の教訓を生かすための対策・体制について、以下4点伺う。
 - (1) 津波に対する避難場所を示す看板は、市民や外国人を含む観光客にわかりやすいものになっているか。
 - (2) 津波を含む災害情報を伝える仕組みは、整っているか。
 - (3) 他市町村との災害援助協定及び元市職員の登録制度は整っているか。
 - (4) ボランティアの受け入れ体制は、すぐに立ち上がるようになっているか。

- 2 市民と行政の協働によるまちづくりについて、以下4点伺う。
 - (1) 私道整備事業を補助する制度は、考えられないか。
 - (2) いとう市民活動支援センターpal（ぱる）の現状と今後の展望について伺う。
 - (3) 市民の自主的活動の需要と供給を結びつける情報誌の創刊、人材バンクの設置は考えられないか。
 - (4) 市民の自主的活動推進のため、ボランティアポイント制度の導入は考えられないか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 横 沢 勇

1 小室山総合グラウンドを公式サッカー場のメイングラウンド及びサブグラウンドとして整備するほか、残りの部分を駐車場として整備することにより、多方面にわたる有効活用が可能であると考えているが、いかがか。

2 奥野ダムを活用した水力発電の可能性について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐々木 清

- 1 構造改革特区による社会保険制度の住所地特例見直しを、本市別荘分譲地の活性化や医療・介護分野での雇用創出につなげていく考え方について伺う。

- 2 健康増進や交流人口増加策として、県総合運動施設の誘致について伺う。

- 3 安心と安全に配慮したまちづくりを図る上で、防災対策として公共施設などにインパクトのある海拔表示をしてはどうか。

- 4 伊東市独自の被災地支援策として、飼い主と離れ離れになっている被災犬の受け入れに対する考えについて伺う。

- 5 津波から子供たちの命を守るため、海拔の低い地域や河川に近い場所にある幼稚園や保育園などにおける避難訓練に係る実施計画の見直しについて伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 西 島 彰

- 1 本市における東日本大震災避難者受け入れについて、以下3点伺う。
 - (1) 受け入れ状況の推移と現状について
 - (2) 受け入れ実務の中で発生した課題は何か。
 - (3) 震災発生から約3カ月を経て、今後の避難者受け入れに対する当局の考えについて

- 2 本市における節電対策とエネルギー確保策について、以下4点伺う。
 - (1) 東日本大震災に伴う市庁舎における節電対応と夏期に向けての対策について
 - (2) エコマイハウス支援事業の現状と今後の展望について
 - (3) 市庁舎及び各コミュニティセンター等、公の施設に太陽光パネルを設置する考えはあるか。
 - (4) 商店街の街路灯のLED化や太陽光発電化に対する公的支援について

- 3 東日本大震災発生後における本市の防災対策の見直しに関し、以下3点伺う。
 - (1) 地震、津波、火山及び風水害それぞれに対応した避難場所と防災マップの見直しについて
 - (2) 津波避難協力ビルの見直し及び新設について、また、津波避難協力ビルへの太陽光発電装置及び外づけ階段の設置に対する補助制度の創設について
 - (3) 災害による交通遮断地域の状況把握策として、「無人防災ヘリ」を導入する考えがあるか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 中卒や高校中退などの若者に対するの支援について

- (1) 就職相談や学習支援のできる体制を関係機関が連携して構築していくことが必要と考えるが、いかがか。まず、窓口となる職員を配置し、実態調査も含めた取り組みを図ってはいかがか。
- (2) 就職先を広げ、働く自信にもつながる資格や技能を体得できる機会をもっとつくっていく必要があると考えるが、いかがか。

2 東日本大震災の観光への影響に対する本市の施策について

- (1) 本市の観光にどのような影響を及ぼしているか、その実態について伺う。
- (2) 10万枚の誘客はがきをどのように生かし、市民ぐるみの誘客宣伝にしていくのか、そのための有効な方法について伺う。
- (3) 市街地活性化及び東北支援を目的としたまごころ市場など、特別なイベントには広報車を走らせるなど、市民、観光客が幅広く参加できるよう宣伝に工夫が必要であると考えているが、いかがか。
- (4) その他、観光客を呼び戻していくための戦略としてどのようなことが計画されているのか。今こそ、観光関連の市民ボランティア団体なども含めて、協働の体制で戦略を練る必要があると考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 若年層への雇用創出強化を図るため、地域の実情に基づいた雇用機会の拡充施策として、以下3点について伺う。
 - (1) 「ふるさと雇用再生特別基金事業」・「緊急雇用創出事業」で雇用された者の離職に伴うつなぎ雇用として、若年者トライアル雇用（試行雇用）制度等の利用による支援について
 - (2) 市内の事業所等を対象とした雇用奨励交付金制度創設による雇用対策について
 - (3) 義務教育課程におけるキャリアコンサルティングの導入について

- 2 7月24日に地上デジタル放送に完全移行するが、市内におけるデジタル波受信状況の現状把握を踏まえ、市民への支援・対応等、以下4点について伺う。
 - (1) 国の定める支援制度への手続支援等について
 - (2) 高齢者世帯への調査及び対応について
 - (3) 市営住宅への地デジ対策の進捗状況について
 - (4) 移行措置以降の相談業務等の対応について

- 3 観光交流の観点から、安心して訪れることのできるまちづくりの推進を図る上で、災害時における観光客向けの対策として、避難場所及びメディア情報やメールマガジン等、支援提供システムの構築を図り、また、これらの情報提供を示すステッカーの考案・作成についての考えを伺う。

4 電力供給不足が懸念される現状、先進的見地から再生可能エネルギーの導入・転換が注目されているこの時期、本市の温泉を利用した地熱発電適地としての調査・研究等の推進について

また、経過措置を踏まえた上で、企業誘致の発想などについて市長の見解を伺う。

5 里親制度の普及促進について、本市の考え方を伺う。

6 児童・生徒や近隣住民の安全確保への責務から、以下2地点への横断歩道設置等の安全対策に対する本市の考え及び対応について伺う。

(1) 市道下方・海立線と市道宮川・桜ヶ丘線が交わる変則的交差点付近の安全対策について

(2) 南山町バス停付近の安全対策について

7 静岡県内公立中学校265校中本市4校のみが給食未実施である現状にかんがみ、本市の教育的視点から、その見解を伺う。

また、本市の中学校給食のプロセスを踏まえ、現在までの施策検討の経過について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 楠 田 一 男

以下の3点について、市長の見解を伺う。

1 災害時の危機管理に役立つ「被災者支援システム」の導入・運用について伺う。

2 災害時に避難所となり得る学校施設の防災機能向上対策について伺う。

3 自然観察や森林浴など、ウォーキングコースとして人気のある林道奥野線の整備について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 榎 本 元 彦

- 1 東日本大震災の被災状況を踏まえ、本市防災計画の見直しについて伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 美 音

1 甚大な災害をもたらした東日本大震災から、学ぶべき防災上の教訓をどのようにとらえているか。

(1) 未曾有の被害を引き起こした津波から、子供の犠牲者をほとんど出さなかった釜石市の防災教育を、教訓とすべきと思うがいかがか。

(2) 今回の津波災害は、災害の原因によって避難のあり方に大きな違いがあることを強烈に示した。避難方法や避難場所のあり方を根本的に見直す必要があると思うが、どうか。

(3) 震災復興支援に本市からも緊急消防援助隊を初め職員を派遣したが、職員の削減が続いている状況下で、十分な派遣ができたか。また、派遣することで市行政の執行に支障はなかったか。

2 食育の観点から、小学校に増して効果が大きいとされ、同時に、長く待ち望まれている中学校給食を早期に全校で実施すべきではないか。また、実現の見通しをどう考えているか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 島 春 之

1 「義務教育は、これを無償とする。」という憲法の規定からも、すべての子供が安心して教育を受けられるよう就学援助制度を活用しやすくするため、さらなる周知と手続の簡素化が必要であると考えているが、いかがか。

2 第四次総合計画では市民との協働の仕組みを築くことが重要とされている。市民が参画しやすくするために、情報の共有や話し合いが必要と考えるが、市民とともに行わなければ進まないまちづくり、ごみ減量、基幹産業である観光などに関し、その進め方や取り組みについて伺う。